

令和7年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

ソフトボール
総合体育大会
大会要項

～絆～

“頑張ろう！ 日本！！”

～Back Softball～

1. 主催

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 伊勢崎市教育委員会 玉村町教育委員会

2. 後援

伊勢崎市ソフトボール協会

3. 会期

令和7年5月31日（土）、14日（土） 8：30～ 予備日 6月7日、15日、21日

4. 会場

ソフトボール場（A面）・第二グラウンド（B面）
伊勢崎市堤西町93 0270-23-7015
予備日：あずま総合運動公園

5. 大会役員

部長 三木 俊幸（第三中）
副部長 内田 敬久（赤堀中）
委員長 吉井 利彰（あずま中）
副委員長 川島 駿太（赤堀中）
役員 中野 典子（第三中）
 関 祐亮・飯山 陽子（第四中）、寺内 愛子・安西 智紀（宮郷中）
 大木 秀文（赤堀中）、清水 正洋（あずま中）
 須藤 孝彬・津布子あゆみ（境北中）、小川翔史・菅原颯樹（玉村南中）

審判長 福島 徹

審判員 伊勢崎市ソフトボール協会審判員

養護5月31日 國安友紀恵（看護師）

6月14日 宮田真由美（看護師）

予備日 7日 西川由佳（玉村）、15日 八巻唯衣（赤堀）、21日 原綾子（玉南）

6. 参加資格

- ①伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該学校長の参加許可を得ている生徒であること。
- ②合同チームの参加については、『伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟主催大会合同チーム参加規程』による。

7. 監督・引率

参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。

8. 参加制限

- ①登録選手は18名（スコアラーを含む）までとし、主将はユニフォームナンバー10をつける。
- ②ベンチ入りできるのは登録選手、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名とする。ただし、監督とコーチは当該校の教職員または部活動指導員とする。監督はユニフォームナンバー30、コーチ、外部コーチは31か32のユニフォームとする。尚、応援に訪れた当該校の管理職のみ、ベンチで応援できる。
- ③監督、コーチ、外部コーチ、引率責任者のうち、同時にベンチに入ることができるのは3名までとする。

9. 試合方法

トーナメント戦方式（ダブルエリミネーション方式）とする。

10. 参加申込み

- ①申込責任者：当該出場中学校の校長
- ②申し込み方法：指定された参加申込用紙に所定事項を記入し、校長が捺印したものをプログラム編成会議で委員長に2部提出すること。

1 1. 表彰

- ①優勝チームには優勝旗と賞状 19 枚（学校 1 枚、選手 18 枚）を授与する。
- ②準優勝チームには準優勝杯と賞状 19 枚（学校 1 枚、選手 18 枚）を授与する。
- ③第 3 位の 2 チームには賞状 19 枚（学校 1 枚、選手 18 枚）を授与する。
- ④本大会上位 4 校は県総合体育大会に出場できる。

1 2. 試合球

日本ソフトボール協会検定球 3 号球ゴム製（ケンコー）とし、各校で 2 球ずつ準備する。

1 3. 競技規則・競技方法

- ①競技規則は、2025 年日本ソフトボール協会規則に準じて行う。
- ②出場チームは試合開始予定時刻の 15 分前には待機し、主将はオーダー用紙 4 枚を持って審判の指示で攻守を決める。オーダー用紙には全登録メンバーの氏名を記入する。（放送がない場合はふりがなはいらない。）
- ③試合前のフィールドインクは 5 分以内とし、登録メンバーのみで行う。
- ④ベンチは組合せ番号の若番を一塁側とする。
- ⑤3 回終了以降 15 点、4 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差はコールドゲームとする。
- ⑥上記⑤の点差によるコールドゲーム以外は、5 回が終了していても試合を打ち切ることとはしない。ただし、雨天や日没でサスペンデッドとなる場合は、均等回に戻って試合を再開する。その場合、再開時から 90 分ルールを適用する。
- ⑦試合は 7 イニングまたは 90 分で行い、90 分を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合は次回よりタイブレーカーを適用する。（決勝は時間制限なし）
- ⑧同一学校が試合を連続で行う場合は試合終了 30 分後にベンチ入りとする。尚、試合の進行や天候等の状況で、当該校の顧問と役員、審判と協議した上で開始時間を早めたり会場を変更したりする場合がある。
- ⑨打者または走者がケガをして、応急処置を目的とした臨時の代走を出場させる場合は、テンポラリーランナーと同様の走者を臨時代走として認める。
- ⑩応援は品位を汚さぬようにし、相手選手への卑劣なヤジや個人攻撃は禁止する。投手がセットポジションに入った後は静観する。また、相手チームのミスを喜ぶような応援は控える。ベンチ内で使用できるメガホンは 1 個だけである。
- ⑪コーチャーボックスに立てるのは監督・コーチ・選手とする。（監督・コーチがボックスに経つ場合には必ずベンチにも監督・コーチ・引率責任者がいること）
- ⑫監督・コーチ・選手はユニフォーム（体操服にゼッケン）を着用し、選手のユニフォームは必ず学校名を表示したマークをつけ、背番号と胸番号をつける。男性の監督とコーチは必ず帽子を着用する。
- ⑬審判員の判断に基づく判定に対しては、抗議することは許されない。ルール上の疑義については監督に限りこれを問うことができる。
- ⑭その他、試合運営上問題が生じた場合は、大会役員と審判団の合議で決める。

1 4. その他

- ①選手と顧問教師は各学校の代表である自覚を持つこと。特に選手の服装や髪型、身なりには顧問教師を中心に各学校で責任を持って指導し、大会に参加すること。
- ②大会期間中の不慮の事故（負傷、疾病）は応急処置のみ行うが、それ以後の責任は負わない。駐車場での交通事故やファールボールなどによる自動車の破損について、一切責任は負わない。
- ③ゴミの持ち帰り喫煙場所については、参加校顧問から保護者に周知徹底する。特に昼食を外部業者に発注する場合は、空き箱等を必ず持ち帰るか、業者に引き取ってもらう確認を各学校でしておく。荷物管理についても置き引き等に十分注意し、各学校で責任を持って管理する。
- ④顧問は 6：30 に集合し、試合の準備をする。雨天時は 5：30 に部長、委員長、副委員長が集合し、天候判断をする。
- ⑤選手・顧問・審判・応援者は、自転車・自動車の置き方や鍵に注意し、グラウンド内や周辺、応援スタンド等をごみで汚さないように心掛ける。
- ⑥第二グラウンドでの保護者の応援は、各自校ベンチより外野側で行う。また、ビデオ・写真撮影については、各自校応援席付近にて行う。
- ⑦天候状況（雨天、雷、WBGT）により試合を中断する場合には、状況が悪いグラウンドに合わせて、2 球場同時に中断する。

15. 熱中症防止への対応

①気温が高い場合には、水分補給を十分に行い、熱中症等に注意する。

(1) 同一チームの攻撃が20分以上続くか打者が一巡した場合は、審判や役員の判断で試合を止めて、守備側の選手への配慮を目的とした給水時間をとる。その場合の給水時間は3分とし、給水タイム中の作戦会議は行わない。再開時に投球練習は行わず、審判のプレイで試合再開。

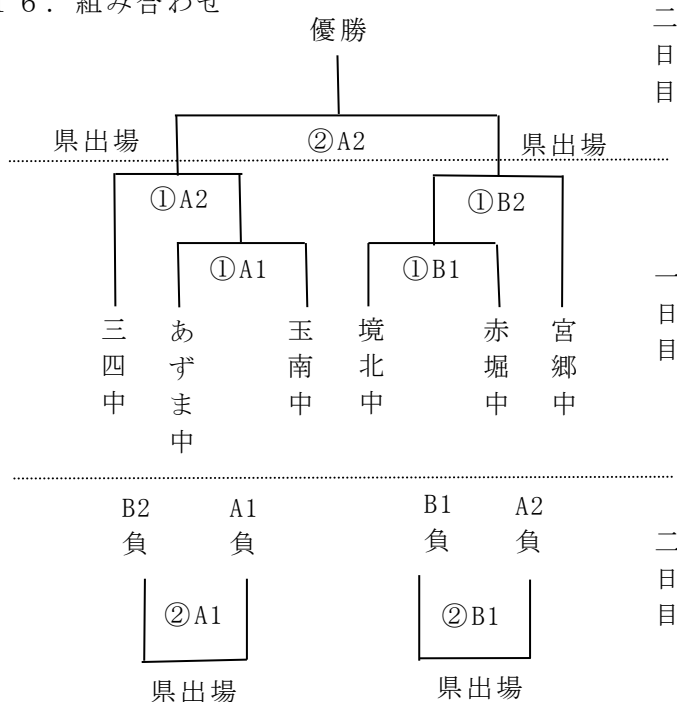
(2) 3回表、5回裏終了時にウォーターブレイク(WB)として3分間の給水時間をとる。タイブレークの際は1イニング半ごとにWBをとる。残り1分になったらベンチ前でアップをしてもよい(作戦会議も可)。WBが終了した時点から試合再開。

(3) 上記以外の場合でも状況に応じて柔軟な対応を行う場合がある。

②WBGTが31℃を超えた場合、中断またはサスペンデッドゲームの措置をとる。

③高温によるサスペンデッドゲームとなった場合、すべての状況を引き継いで、試合を再開する。(雨天時のサスペンデッドゲームとは異なる)

16. 組み合わせ



第一試合開始予定時刻

8:30~

第二試合開始予定時刻

10:30~

※3位決定戦は行わない
決勝戦終了後、閉会式

17. 開・閉会式次第

〔開会式〕

司会：川島先生

場所：A 球場

時間：7:30~

- (1) 開会の言葉 (川島先生)
- (2) 優勝・準優勝杯返還 (三木学校長・寺内先生)
- (3) 大会部長挨拶 (三木学校長)
- (4) 選手宣誓 (三四中主将・川崎怜奈)
- (5) 競技上の注意 (審判長)
- (6) 大会運営上の注意 (吉井先生)
- (7) 閉会の言葉 (川島先生)

〔閉会式〕

司会：川島先生

場所：A 球場

時間：決勝戦終了後

- (1) 開会の言葉 (川島先生)
- (2) 成績発表 (川島先生)
- (3) 表彰 (三木学校長・寺内先生)
- (4) 大会部長挨拶 (三木学校長)
- (5) 審判長講評 (審判長)
- (6) 閉会の言葉 (川島先生)